

第26回「角尾学術賞」授与式を举行



表彰状を授与される 新 助教



受賞記念講演会を行う 今泉 研究員（左）

5月25日、医学部ポンペ会館において、第26回「角尾学術賞」授与式及び受賞記念講演を举行しました。

同賞は、長崎医科大学内科学第一講座を開講して以来、原爆症で亡くなるまで、約20年間、同医科大学の発展に尽力された故 角尾 晋 元長崎医科大学長の胸像建立醸金を基金とし、同学長の功績を顕彰するため、医学の分野において特に学術的貢献があった、40歳以下の研究者を対象に、本学医学部より毎年授与しているものです。

昭和59年11月に第1回受賞者を選考し、授与式並びに受賞記念講演を行って以来、29名が受賞し、歴代の受賞者の中には、その後、本学医学部の教授に就任された先生もいます。

なお、第26回「角尾学術賞」を授与された方は次の2名です。

医歯薬学総合研究科
新興感染症病態制御学系専攻感染免疫学講座
新 竜一郎 助教
受賞テーマ
「感染病原体プリオン増殖機構の解明と
プリオン病の早期診断法の開発」



医学研究科（第一内科）
（放射線影響研究所臨床研究部研究員）
今泉 美彩 客員研究員
受賞テーマ
「原爆被爆者の甲状腺疾患に関する研究」



（平成21年6月・医歯薬学総合研究科学術協力課）